

評価結果報告書

地域密着型サービスの外部評価項目構成

I. 理念に基づく運営	<u>11</u>
1. 理念の共有	2
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を実践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	2
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	<u>2</u>
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	<u>6</u>
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	2
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	2
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	<u>11</u>
1. その人らしい暮らしの支援	9
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
合計	<u>30</u>

事業所番号	3990100012
法人名	医療法人 地塩会
事業所名	グループホーム 神田
訪問調査日	平成20年12月25日
評価確定日	平成21年3月17日
評価機関名	社会福祉法人 高知県社会福祉協議会

○項目番号について
 外部評価は30項目です。
 「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。
 「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。
 番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載しています。

○記入方法
 [取り組みの事実]
 ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。
 [取り組みを期待したい項目]
 確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に○をつけています。
 [取り組みを期待したい内容]
 「取り組みを期待したい項目」で○をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

○用語の説明
 家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
 家族 = 家族に限定しています。
 運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。
 職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。
 チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

1. 評価結果概要表

【評価実施概要】

事業所番号	3990100012
法人名	医療法人 地塩会
事業所名	グループホーム 神田
所在地 (電話番号)	高知市神田宇久寿崎2322番1 (電話) 088-831-8801

評価機関名	社会福祉法人 高知県社会福祉協議会		
所在地	高知市朝倉戊375-1 高知県立ふくし交流プラザ内		
訪問調査日	平成20年12月25日	評価確定日	平成21年3月17日

【情報提供票より】(平成20年11月21日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成18年12月8日		
ユニット数	2 ユニット	18	人
職員数	13 人	常勤 6人、非常勤 7人、常勤換算 10.6 人	

(2) 建物概要

建物形態	併設 (単独)	(新築) 改築
建物構造	木造	
	1 階建ての	階 ~ 1 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	25,000~32,000 円	その他の経費(月額)	15,000 円
敷金	有(円)	(無)	
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円)	有りの場合 償却の有無	有/無
食材料費	朝食	300 円	昼食 400 円
	夕食	500 円	おやつ 円
	または1日当たり 円		

(4) 利用者の概要(11月21日現在)

利用者人数	18 名	男性 1 名	女性 17 名
要介護1	6 名	要介護2	5 名
要介護3	6 名	要介護4	名
要介護5	1 名	要支援2	名
年齢	平均 87.1 歳	最低 79 歳	最高 96 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	医療法人泉山会 泉山診療所・医療法人吉野会 神田歯科クリニック
---------	---------------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

閑静な住宅街に位置しながら、近隣には大型のスーパーやコンビニがあり利便性が良く、また、隣接地には同一法人が経営する有料老人ホームもあり、互いに協力できる関係にある。管理者は開かれたホームを目指しており、地域の方々との交流を大切にしている。地域の公民館で行われる「生き生き百歳体操」やフラダンス教室に参加したり、町内会長や知り合いの人がフラダンスを教えに来てくれたり、馴染みの喫茶店や美容院へ出かけるなど、地域との顔馴染みの関係が築かれている。また、職員は利用者一人ひとりの思いを大切に寄り添うケアを実践している。現在、来年のオールドパワー文化展に作品を出品するため、職員と利用者が協力して、折り紙の貼り絵を共同制作しており、そこには共に暮らす者同士の思いが込められているように感じられた。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	前回評価の改善課題のうち、「地域密着型サービスとしての理念の追加」「市町村との連携」「他のグループホームとの交流」「栄養士による栄養指導」の4項目は改善されているが、「地域住民の協力による防災訓練」「家族会の結成」「終末期の対応方針」については、課題解決に向けての具体的な過程が見えず、改善されていない。引き続き改善に向けて取り組むことが望まれる。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	自己評価は職員会で話し合い、職員とともに取り組んでいる。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	運営推進会議で評価結果を報告し、明らかになった課題の改善に努めるほか、情報交換も行い、行事を通じて地域と活発な交流を行っている。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	事業所の行事の時に家族が顔を合わせる機会はあるが、家族会は組織されていない。家族会として位置付けることにより、家族同士が意見を出しやすい仕組みを作り、会の記録も残されることを期待したい。苦情については受付記録があるが、意見等についてもサービスの質の向上に向けて取り組むため、些細なことであっても、対応や取組みの事実等の記録を残すことが望まれる。今後、第三者委員や介護相談員による苦情相談受付体制の導入も検討されたい。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	町内会に加入し、年4回の一斉清掃、地域の公民館で毎週行われている「生き生き百歳体操」、フラダンス教室、地域の夏祭り等に参加している。また、町内会長等がフラダンスを事業所に教えに来てくれたり、運営推進会議で地区の道路の花の植替えの誘いがあるなど、事業所が地域と連携でき、親しまれていることが窺われる。近所の馴染みの喫茶店や美容院等とも交流がある。

2. 評価結果（詳細）

（ 部分は重点項目です ）

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○ 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	<input checked="" type="checkbox"/> 地域密着型サービスとして、独自に作り上げられた理念がある。 「入居者様とスタッフが共に支えあい、地域の中で暖かい暮らしをしていきます。」という、地域密着型サービスとしての独自の理念がある。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> 理念について職員間で話し合いの機会をもち、意識づけがされている。 毎日の申し送り時やミーティング時に唱和し、意識づけをしている。 <input checked="" type="checkbox"/> 日々のサービスの提供場面(言葉かけ、態度、記録等)において、理念が反映されている。 何か決める時は利用者と一緒に決め、地域のイベントへ参加し、事業所でのイベントに住民を誘い、利用者と共に支えあい、積極的に地域との交流を図っている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	<input checked="" type="checkbox"/> 地域住民の一員として、町会、自治会等に参加している。 <input checked="" type="checkbox"/> リサイクル活動や行事など地域活動の情報を集め、それらに参加するなど、接点を持つ努力をしている。 一斉清掃に年4回、公民館で行われている「いきいき百歳体操」に毎週、また、同じ公民館で行っているフラダンス教室にも参加するなど、地域との連携を図っている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> サービス評価を実施するにあたり、評価の意義とねらいについて運営者、管理者、職員で話し合い、全員で自己評価に取り組んでいる。 職員会で話し合い、職員の意見や考えを管理者が取りまとめ、共に検討して取り組んでいる。 <input checked="" type="checkbox"/> 評価で見出された課題について改善計画を立て、その実施に取り組んでいる。 改善計画を作成し改善に向けて取り組んでいる。なお、目標期間や取り組みの経過が判らないので、それらを記録することにより、職員全員に改善に向けた共通の意識づけを行い、サービスの質の向上に向けて更に取り組んでいくことを期待したい。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	<input checked="" type="checkbox"/> 会議では、事業所からの報告とともに参加メンバーから質問、意見、要望を受け、双方向的な会議となるよう配慮している。 会議では、事業所の状況報告、評価の結果報告等を行い、参加メンバーから意見や質問が出され、情報交換も行い、双方向的な会議となっている。 <input checked="" type="checkbox"/> 評価で明らかになった課題について会議で報告し、改善に向けて取り組んでいる。		
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> 市町村職員の研修場所として事業所を活用してもらったり、また市町村担当窓口に対して、事業所の実情やケアサービスの取り組みを折に触れて伝えるなど交流を図っている。 市の高齢者支援センターに、事業所の抱える色々な問題等を相談し、交流を図っている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 家族等の来訪時には声をかけ、利用者の状況や家族のことについて話し合っている。 家族は少なくとも1カ月に1回来訪しており、その都度、プランの相談、消耗品の購入、行事の案内等話し合っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者の事業所での暮らしぶりやエピソードなど、手紙や写真等で伝えている。 事業所から事務連絡を出す時に、利用者本人も手紙を書いたり、事業所での写真を送ることもある。また、プレゼントの礼状を職員が代筆することもある。 <input checked="" type="checkbox"/> 心身の状況について、何らかの変化や問題が起きた時に必ず報告している。 <input type="checkbox"/> 金銭について使途の確認や金銭出納帳等を明示し、その都度あるいは定期的に報告している。 金銭の預かりはない。 <input type="checkbox"/> その他 利用者個々の家族との対応は密なものがあるが、事業所全体として、生活の様子や活動状況を知らせる定期的な「便り」を作成していない。	○	事業所の活動状況、利用者の暮らしぶり、エピソードなどを知らせる「ホーム便り」等を作成し、定期的に発行することを期待したい。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	<input type="checkbox"/> 家族会や家族同士の集まりの場で意見を出せるような仕組みを作っている。 敬老会やクリスマス会等のイベント時に、家族が顔を合わせる機会はあるが、家族会は組織されていない。 <input type="checkbox"/> 苦情への対応で終わりではなく、その苦情の発生要因を探り、課題を検討し、質の向上をめざす取り組みをしている。 家族からの意見はあり、連絡ノートで共有しているが、その内容を意見や苦情等として受け取り、課題として検討するような取り組みは行っていない。	○	家族会を組織し、家族同士が率直な意見を出せるような機会をつくるのが望まれる。また、意見等についても苦情受付記録同様、記録として残すとともに、職員全員で話し合い、発生要因等を探り、サービスの質の向上に向けて検討することが望まれる。また、第三者委員や介護相談員による外部からの苦情相談受付体制の導入も検討されたい。
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	<input type="checkbox"/> 利用者にとって馴染みの職員が継続的に支える体制となっている。 過去1年間で、東ユニットで5回、西ユニット3回の常勤職員の異動があり、馴染みの職員が継続的に支える体制にはなっていない。 <input checked="" type="checkbox"/> 職員が代わる時は、引き継ぎの期間を十分に取り、スムーズに移行できるように配慮している。 引継期間は最大1カ月取り、スムーズに移行できるように配慮している。	○	職員の離職の要因は様々であろうが、認知症の利用者にとって関係を築くまでに時間のかかることを考慮すれば、良質なサービスを提供するために、運営者とともに離職の要因を探り、安定した人材の確保を期待したい。
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	<input checked="" type="checkbox"/> 日常的に学ぶことを推進し、パート職員にもチームの一員として、研修・会議等参加の機会がある。 法人内の年間研修計画があり、全職員が参加できる体制となっている。外部研修には希望者が休日を利用して参加している。 <input type="checkbox"/> 全職員が共有できるよう、研修内容を報告する機会を作っている。 研修内容はミーティングで報告し、会議の内容を録音し、CDに移して職員に回覧しているが、文書による研修報告が義務付けられていないことから、研修参加の記録や内容報告がない場合がある。	○	外部研修が休日扱いの自主参加であるため、報告を義務づけできない面もあるが、職場の質向上に繋がることを思えば、研修への参加の仕方も含め検討し、研修参加記録や文書による研修報告を実施するよう検討されることが望まれる。
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	<input checked="" type="checkbox"/> 県内、全国組織の同業者ネットワークに加入し、サービスや職員の質向上につなげている。 全国のグループホーム連絡協議会に加入し、高知市西部地域グループホーム連絡会を設立して、地域の事業所と勉強会や相談等を行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 管理者・職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、職員のサービスや質向上に努めている。 高知市西部地域グループホーム連絡会を奇数月に開催している。会場は各事業所が持ち回りで提供し、事業所の見学や勉強会等で交流を図っている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>○馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>入居希望者の入居に際し、その者の心身の状況、生活歴、病歴等の把握に努めるとともに、本人、家族等の意向も確認している。</p> <p>入居に際し、事前面談で本人や家族から生活歴等を把握し、意向の確認もしている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>本人や家族に事業所の見学や体験をしてもらっている。</p> <p>見学をもらい、その際お茶などを飲みながら雰囲気体験してもらっている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>入居希望者には、複数の職員が面接を行っている。</p> <p>管理者と職員で面接を行っている。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>日々の生活場面の中で、支援する側、される側という認識は持たず、お互いが協働しながら和やかな生活ができるような場面作りがある。</p> <p>食事の準備から後片づけ、掃除、洗濯物たたみなど、日常の家事だけでなく、一緒に入浴して背中を流しあったりして、互いに協働しながら和やかに生活している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>職員は利用者と共に暮らす者同士として、「哀しみ」、「不安」、「喜び」、「楽しみ」などの本人の思いを共感し、理解している。</p> <p>本人の思いの変化を理解し、好きな場所で過ごしてもらったり、寄り添ってマンツーマンで係わりを持ち話をするなど、喜怒哀楽を共にし、理解するように努めている。</p>		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>一人ひとりの思い・暮らし方の希望・意向の把握に努めている。</p> <p>ケアプラン作成時に本人の話を聞き、希望や意向の把握に努めている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>意思疎通が困難な方には、ご家族や関係者から情報を得るようにしている。</p> <p>家族の面会時などに聞くようにしている。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>○チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>本人やご家族等からの気づき、意見、要望等を反映した介護計画が作成されている。</p> <p>本人や家族から生活上の希望を聞き、出来ることを優先し、本人からの気づきも採り入れた介護計画を作成している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>アセスメントを含め職員全員で意見交換やモニタリング、カンファレンスを行っている。</p> <p>変化がなければ3か月ごとにカンファレンス、モニタリングを行っている。カンファレンスは担当者、ケアマネ、他の職員も交えて実施している。</p>		
16	37	<p>○現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>介護計画は、設定された期間ごとに見直しされている。</p> <p>3か月ごとに見直している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>ワンパターンの期間設定ではなく、本人、家族の要望や状態に変化が生じた場合には、その都度見直し、計画内容に応じた個別の期間設定をしている。</p> <p>状態の変化がある場合は見直しを行うなど、個別の期間設定を行っている。</p>		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援(事業所及び法人関連事業の多機能性の活用)					
17	39	<p>○事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>医療機関と連携して、医療処置を受けながら事業所で生活が継続できるように努めている。</p> <p>協力医療機関の往診を受け、医療処置を受けながら事業所で生活が継続できるように努めている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>本人、家族の状況に応じて、通院や送迎、特別な外出、外泊などの支援を行っている。</p> <p>個別の通院は基本的に家族が付き添っているが、困難な場合は職員が支援している。半日程度の帰宅の送迎、家族の見舞い、日曜日への買い物など、柔軟に支援している。</p>		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援との協働					
18	43	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>いままでのかかりつけ医や本人・家族等が希望する医療機関・医師に受診できる支援ができています。</p> <p>希望する医療機関に受診できるよう支援している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>受診や通院は、本人やご家族の希望に応じて対応している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>受診結果に関する情報の共有ができています。</p> <p>家族とは互いに受診結果の情報を交換し、職員間も回覧ノートで情報を共有している。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	<input type="checkbox"/> 終末期の対応方針を定め、家族・医師・看護師を交えて話し合いを行っている。 重度化や終末期の取り組み方針はなく、話し合いもされていない。 <input type="checkbox"/> 本人や家族の意向を踏まえ、医師、職員が連携をとり、安心して納得した最期が迎えられるように取り組んでいる。 取り組みは行われていない。	○	利用者や家族が安心してサービスを利用できるように、重度化や終末期に向けた対応方針を作成すると共に、家族、医師、看護師を交えた早い時期からの話し合いを行い、本人や家族の意向を踏まえて、安心して納得のいく終末期を迎えられる取り組みを期待したい。

IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援

(1)一人ひとりの尊重

20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	<input checked="" type="checkbox"/> 人前であからさまに介護したり、誘導の声かけをして、本人を傷つけてしまわないように、目立たずさりげない言葉かけや対応に配慮している。 言葉かけに配慮し、一人ひとりの尊厳を傷つけないように支援している。 <input checked="" type="checkbox"/> 他の家族や外来者に対して、職員が利用者のプライバシーに関する話を話さないことを徹底している。 プライバシーに関することは居室の中で個別に話をするなど、徹底している。 <input checked="" type="checkbox"/> 全ての職員が、個人情報保護法の理解に努め、徹底されている。 職場内研修を行い、法の理解に努め、マニュアルも作成している。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	<input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりが「その日」にどのように過ごしたいかを把握し、それに応じて柔軟に支援している。 本人の希望にできるだけ沿った支援を行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 事業所の業務スケジュールに利用者の生活を合わせていない。 本人の生活ペースに合わせて支援するようにしている。		

(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援

22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	<input checked="" type="checkbox"/> 献立づくりから調理、片付けに至るまで、食事に関する一連の流れを職員が一方的に進めるのではなく、利用者の意志や気持ちを大切に進めている。 食事の下ごしらえ、味付け、盛り付け、後片付けなど、利用者ができることを一緒に行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 職員は食事の介助にとどまらず、利用者と職員が同じものを一緒に食べている。 職員全員が同じものを食べてはいないが、朝は夜勤の者が、昼は日勤の者が、夜は遅出の者が、必ず一人は同じものを一緒に食べるようにしている。		
----	----	----------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--	--

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
23	57	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>利用者のこれまでの生活習慣や希望にあわせて入浴できるよう、職員勤務体制等について工夫をしている。</p> <p>入浴時間は朝は9時から設定しており、夜間の入浴希望者には遅出職員が協力し、支援している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>入浴を拒む人に対しては、言葉かけや対応の工夫、チームプレー等によって一人ひとりにあわせた入浴支援を行っている。</p> <p>言葉かけを工夫したり、職員が交替するなどして、入浴支援を行っている。</p>		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	<p>○役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>何がその人の役割、楽しみごとになり得るかを把握し、食事作りや庭木の剪定など利用者の経験や知恵を発揮する場面を作っている。</p> <p>掃除、調理、洗濯たみなど、役割や経験を発揮する場面を作っている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>一人ひとりの役割、楽しみごと等を作り出すため働きかけを行っている。</p> <p>一人ひとりの生活歴などから、興味の持てるようなレクリエーションや役割などを見つけ、働きかけを行っている。</p>		
25	61	<p>○日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>近くへの散歩だけではなく、その人の馴染みの店や場所へ出かけている。</p> <p>自宅近くに散歩に行ったり、馴染みの理美容院や喫茶店に出かけたりしている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>歩行困難なケースでも、車や車いす等を利用し、戸外へ出ることを積極的に行っている。</p> <p>天気良ければ積極的に出かけるようにしている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>日常的に散歩、買い物あるいはドライブ等に出かけている。</p> <p>四季折々に花見に行ったり、飛行場や近くの観光地にドライブに行ったりしている。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	<input type="checkbox"/> 鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> 居室や日中玄関に鍵をかけていない。 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者一人ひとりの外出の習慣や傾向を把握して、対応している。 利用者の外出傾向は把握しており、寄り添って話をしたり、共に外出して見守ったりして支援している。 <input checked="" type="checkbox"/> 近所の人にも理解を求め、見守り、声かけや連絡をしてもらえる関係を築いている。 近所の住民とは顔なじみであり、また、同一法人の有料老人ホームが隣接していることから、連絡が貰える関係ができています。		
27	71	<input type="checkbox"/> 災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	<input type="checkbox"/> 事業所だけの訓練ではなく、地域住民の参加、協力を得ながら避難訓練等を定期的に実施している。 年1回町内の防災訓練に参加し、事業所での総合防災訓練も実施しているが、地域住民の参加協力は得られていない。 <input checked="" type="checkbox"/> 避難路の確保(整理整頓)や消火器等の設備点検を定期的に行うとともに、非常用食料・備品を準備している。 消防設備点検を実施し、避難場所は隣接する同一法人の有料老人ホームであることから、避難経路の確保もできています。また、非常用食品及び飲料水の準備もしています。	○	災害時等の非常の際の避難には、地域住民の協力は不可欠であるので、地域住民の参加協力を得て事業所で行う防災訓練を実施することが望まれる。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<input type="checkbox"/> 栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの一日の栄養摂取総量や水分量を把握している。 チェック表で把握している。 <input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの嗜好を把握し、献立に採り入れながら、栄養バランスにも配慮している。 一人ひとりの嗜好を把握し、体調不良時の代替食等にも配慮しながら献立を作成している。 <input checked="" type="checkbox"/> 定期的に、栄養士や保健師等に専門的な観点からチェックしてもらっている。 同一法人内の栄養士がチェックしている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>利用者にとって使いやすい配置や馴染みの物を採り入れた共用空間になっている。</p> <p>廊下の採光が良く、要所に椅子を配置して利用者がくつろげる場所を確保している。また、居間の窓が広く、外を通りがかった顔見知りの人と窓越しに話ができるなど、居心地の良い空間づくりに配慮している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>天井や壁面に掛けられた折り紙等の飾り付けが、家庭的な雰囲気を壊していない。</p> <p>居間には利用者と一緒に作った折り紙を飾り、廊下には利用者の家族から頂いた絵手紙や絵を飾るなど、優しさが感じられる雰囲気である。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>季節感のある装飾等に工夫するなど、季節感や五感の刺激にも配慮している。</p> <p>クリスマスの飾り付けを行い、居間、居室、廊下等の何処の窓からも季節の草花や木々の移り変わりが目に入り、季節を感じることができるようになっている。</p>		
30	83	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>使い慣れた馴染みの物を傍に置くなど、本人や家族と相談しながら個別に工夫している。</p> <p>椅子、タンス、娘からの絵手紙、写真、自分で描いた絵など、その人らしさが解る物を置き、個別に工夫している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>家族の協力が得られない等の場合でも、本人の意向を確認しながら、その人らしく居心地のよい居室づくりに取り組んでいる。</p>		